

# 2004年度(2005年3月期) 決算説明会

2005年4月27日

 株式会社 日立物流

【お問合せ先】

コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ

Tel :03-5634-0307 Fax :03-5634-0295

E-mail [koho@cm.hitachi-hb.co.jp](mailto:koho@cm.hitachi-hb.co.jp)

HITACHI



( 単位 :億円、端数四捨五入、( )内は利益率(%))

	03年度 実績	04年度 計画(4月)	04年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)
売上高	2,648	2,660	2,709	<sup>1</sup> 107.1 102	102
営業利益	(2.8) 73	82	(3.3) 88. <sup>3</sup>	120	108
経常利益	(2.8) 75	83	(3.3) 90. <sup>2</sup>	120	109
税引前利益	(3.3) 88	85	<sup>2</sup> (4.8) 130. <sup>3</sup>	148	153
当期純利益	(1.6) 43	46	(2.5) 66. <sup>5</sup>	153	145

1 旅行代理店事業の新計上方法基準比

2 特別利益(固定資産売却 他) 62億円、特別損失(減損会計適用 他) 22億円



(○は株主資本比率(%))

		03年度	04年度	増減
総資産 (億円)		1,966	1,996	30
株主資本 (億円)		(60) 1,180	(62) 1,233	53
1株当たり株主資本 (円)		1,055.61	1,103.74	48.13
1株当たり当期純利益 (円)		37.67	58.33	20.66
指標	ROE (%)	3.7	5.5	1.8
	PER (倍)	22.8	17.5	5.4
	PBR (倍)	0.81	0.92	0.11
1株当たり配当金 (円)		10	12	2
株価 (円)		(04.3.31) 860	(05.3.31) 1,018	158

# セグメント別業績



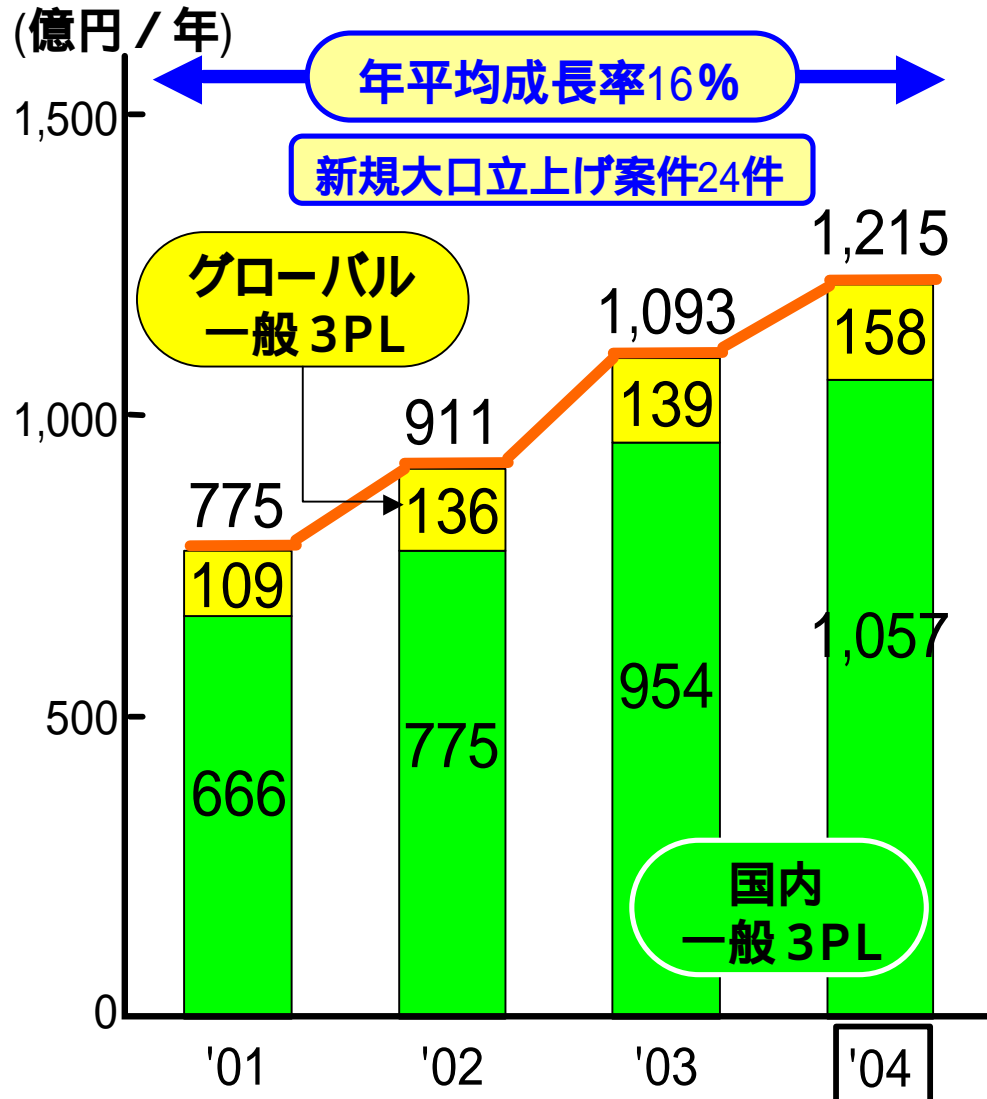
( 単位 : 億円 / 年、端数四捨五入、< > 内は前年比、○は構成比(%) )

	売上高	営業利益	売上高内訳			
			一般向け	日立G向け	小計	その他
国内物流事業	<107> ○72 1,941	<124> ○82 137	<111> ○39 1,057	<106> ○16 439	<109> ○55 1,497	<101> ○17 444
国際物流事業	<113> ○21 582	<154> ○11 19	<114> ○6 158	<137> ○5 149	<124> ○11 307	<103> ○10 275
その他事業	< 58> ○7 [94] 187	<163> ○7 11	—	—	—	< 58> ○7 [94] 187
(消去又は全社)	—	79	—	—	—	—
合計	<102> ○100 [107] 2,709	<120> ○100 88	<111> ○45 1,215	<112> ○21 588	<112> ○66 1,803	< 88> ○34 [100] 906

旅行代理店事業の新計上方法基準比



## 一般向けシステム物流売上高推移

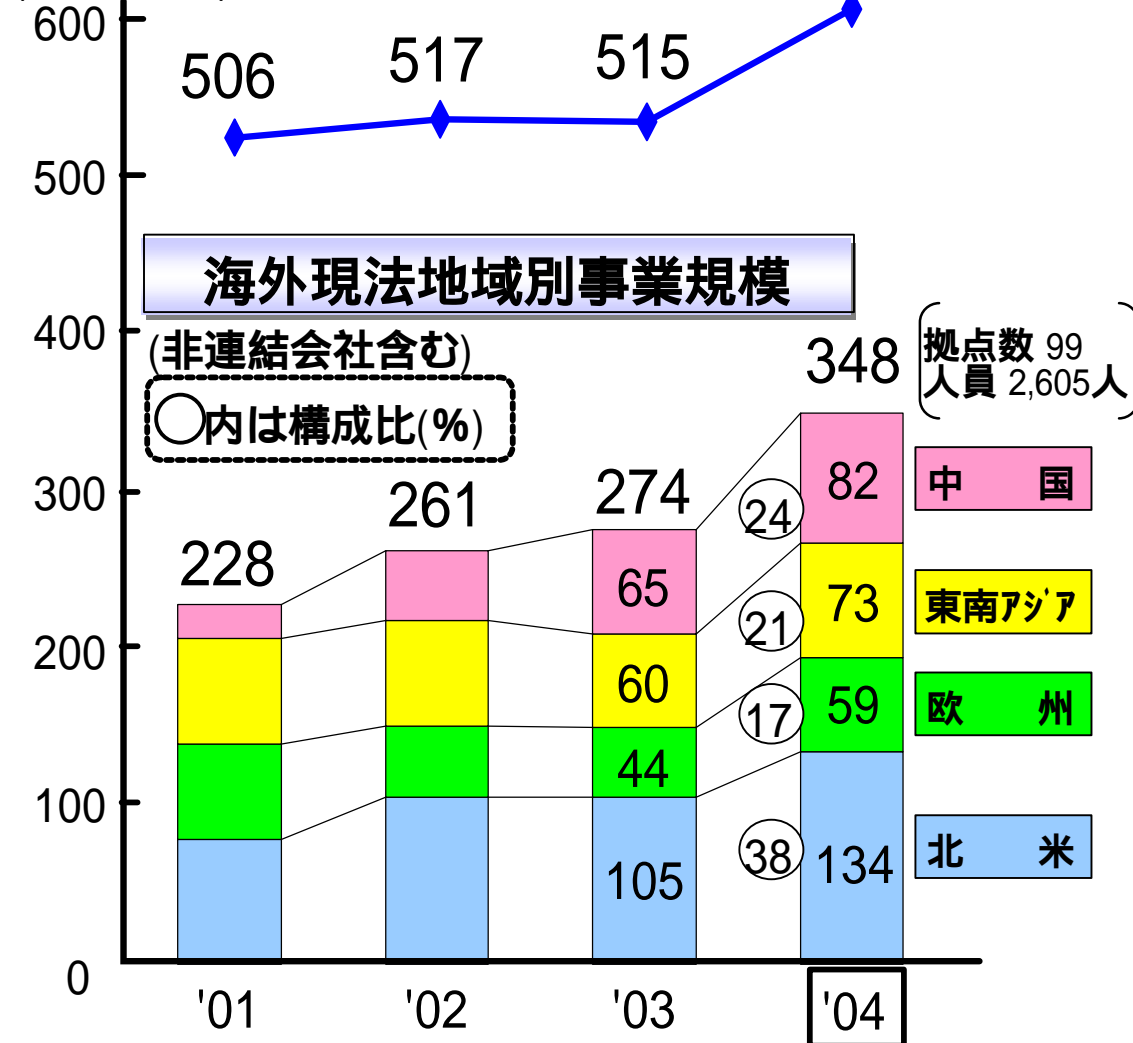


	施策
ターゲット	流通、医療、情報通信 メーカー系調達・発送物流
新商品	業界プラットフォーム グローバル最適システム 高機能ドキュメント・サービス
営業強化	システム営業マン増強 日立との共同 3PL 事業 郵政公社との連携強化



## グローバル物流売上高推移

(億円/年)



## 海外現法地域別事業規模

(非連結会社含む)

### 中国

中国幹線輸送ネットワーク拡充  
 世界各国と結合したSCMの拡充  
 物流園区を活用した物流サービス  
 (蘇州邦達新物流 '05/1~)  
 情報システムの開発  
 (日立物流軟件系統 '04/9~)

### 北米

メキシコボーダー物流の事業拡大  
 (サンディエゴ/ティファナ地区)  
 (ラレド/ヌエボラレト地区)

## 事業拠点の整備 拡充

### 首都圏東物流センター



'04/11竣工

建物面積 80,000m<sup>2</sup>

取扱商品 スポーツ用品  
家電製品 等

### 西大阪物流センター



'04/12竣工

建物面積 38,000m<sup>2</sup>

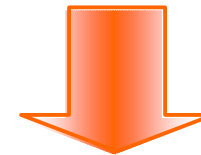
取扱商品 オフィス家具  
光学機器 等

## 業界プラットフォーム事業

### 東日本PFC



'05/4竣工  
建物面積 58,000㎡  
取扱商品 トイレットリー製品 等  
業界毎の標準インフラの構築



共同物流による運営効率化  
物流コスト低減  
環境負荷低減



## 『ロジスティクスソリューションを強みとした高収益企業へ』

### 事業構造改革・競争力強化による高収益体質の確立

- 「攻めと守り」を同時に取組み、業界トップレベルの営業利益率を確保 -

### コアビジネスの強化・拡大

- グローバル市場で他社と差別化できる商品・技術の開発と進化 -  
システム物流(3PL)事業の更なる成長  
グローバル事業の加速

### 社会的責任の完遂

- 環境重視の事業経営とコンプライアンスの徹底 -  
—株主重視の経営—

